

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2022年10月25日時点)

▶ **ウクライナ軍**が東部ルハンスク州・ドネツク州及び南部ヘルソン州の**露軍への反撃を継続**する一方、**露軍**はミサイル、UAVや多連装ロケットによる**民間人や民生インフラへの攻撃を継続**している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

ロシア軍: **死者5937人**(ショイグ国防相発言9月21日)

: **死者約6万8420人**、戦車喪失2611両、装甲車両5321両(「ウ」国防省10月25日)

: **死傷者7~8万人前後**、装甲車両喪失3~4千両(米国防省8月8日)

「ウ」軍: **死者約9千人**(「ウ」軍8月22日)

「ウ」市民: **死者6374人以上、負傷者9776人以上**(国連人権高等弁務官事務所10月24日)

10月20日、米「ラジオリパティ」は、**ベラルーシ南部ホメリ近郊のジャブラウカ飛行場**(「ウ」国境の北約50km)で**地对空ミサイルの展開と関連しているとみられる造成工事**が進んでいると報道

- 10月21日、「ウ」国営通信は、グラトコフ露ベルゴロド州知事が、「**防御施設**」として**州内にコンクリートブロックを設置**している旨発言したと報道
- 同23日、露国営タス通信は、スタロヴォイト・クルスク州知事が、11月5日までに3本目の防衛線を完工する旨発言したと報道

- 10月19日、露国防省系メディアは、**これまで同国政府が公式には存在を否定していた民間軍事会社「ワグネル」の活動に関する記事及び映像を公開**。記事では、「ワグネル」要員がドネツク州バフムート付近で戦闘に参加しているほか、保有する工兵装備により、**コンクリートブロックや対戦車壕といった複数の対戦車障害物からなる「ワグネル線」と呼称する防衛線を構築**していると指摘
- 同日、露独立系メディアは、「ワグネル」が構築している防衛線は、**セヴェロドネツク及びリシチャンスクへの接近を阻むもの**と指摘

同21日、「ウ」国営通信はベラルーシ独立系メディアを引用し、**露極東から「ベ」西部の駅**(付近に演習場が所在)に露西部統合コマンドを荷主とする**弾薬輸送列車が到着**している旨報道

10月18日、露政府系メディア各社は、対「ウ」作戦の統括を任命されたスロヴィキン司令官へのインタビュー記事を公開。同司令官は、「ウ」が**親露的な国家であることを望むと述べる一方、ヘルソン方面における戦況の不利を認め、「難しい決断を下すことも排除せず適時適切に行動する」旨発言**

「ウ」軍や「ウ」地方行政の発表によれば、**ミコライウやザポリジヤといった前線に近い主要都市に対し、露軍はS-300地对空ミサイル(夏以降)やイラン製自爆型UAV(秋以降)による攻撃を継続**(10月10日及び11日のキーウ等も含めた全土へのミサイル攻撃以前より継続)

- 主要都市
- ✈️ 主要軍施設
- 露軍が占領した地点
- 🟡 露軍が占領した地域
- 🟦 ウクライナ軍が奪還した地域

